



「真化」への道は着実に

校長 山崎 勝則

「真化」とは今年の生徒会目標です。生徒会が任命式の後、校長室にやってきました。

「校長先生は高松中学校をどんな学校にしたいと思いますか。」という質問に、「嘘偽りのない真の学校をつくりたい。」と答えました。そして最終的に生徒総会で決定された目標なのです。

そんな素敵な目標を決めてくれた生徒たちの前で、2つの謝罪をいたしました。

1つ目、校長が嘘の理由をつけて失敗をごまかし、職員から注意を受けたことです。一般職員が校長に注意するなんておかしくないかと生徒に訴えかけましたが、その生徒は「嘘を言った校長先生が悪い。」と一刀両断。さすが中学生、若い、真化のスピードが速い。そして注意されながらなんだか嬉しい気持ちになりました。

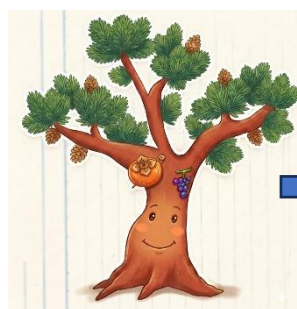


2つ目、伝統3項目「清掃」を批難したことへの謝罪です。校舎のあちこちが汚れて掃除ができていないと注意したのですが掃除の様子を観察していると確かに素晴らしいのです。黙々と壁のテープ跡をはがす姿を見て汚れの原因は長い間貼ってある掲示物が原因だと気づきました。貼って満足せず、学校全体の「清」を考え、効果的な「新」の取組に挑戦していきたいと思います。

伝統3項目「清掃」ですが着実に新1年生にも継承されています。これが全校生徒にひろがってこそ本当の伝統ですよね。

新キャラ 爆誕

新キャラを考えてほしいとお願いしたのですが、誰も考えてくれず、創作部からは忙しいとあしらわれ困っていたところ2人の救世主が現れました。3年のDさんとKさんです。Dさん考案の「真松くん」「もんぺいガッキー」、Kさん考案の「タエマツ」。それらのキャラを合わせて誕生した、その名も「たかマッチョ」。強い風にも負けない松のように力強く、防風林のように人々の生活を守るような生徒になってほしいという意味が込められています。



真松くん



もんぺいガッキー



タエマツ



たかマッチョ

なお、新しい学校だよりの「題名」及び「新キャラクター」決定に難航したため「5月号」を休載いたしましたことをこの紙面を通じてお詫び申し上げます。